



第七十二号

会報浄土真宗太陽の会

「令和三年 新年御挨拶」

新たにご縁を頂きました皆様と日頃より縁を深められました皆様に心よりの感謝と共に新年のご挨拶を申し上げます。かつてこの様な寂しい新年は経験したことがありません。皆様も同様に感じてもらえるのではないのでしょうか。昨年はコロナ一色で非常に大変な一年でしたが、皆様はお元気で新年をお迎え頂きましたでしょうか。

年が明けた今もなおコロナの脅威は収まるどころか連日の新規感染者数更新が続き、患者数は非常事態宣言時より大幅に増加しております。昨年に続き、当会においても定期法要等は自粛せざるを得ない状況です。

この未知なる疫病の侵攻は我々の生活様式を一変させました。神仏にすがる方も多かったと思います。しかしながら、この病は我々が普段忘れがちな「いのち」

について一人一人が真剣に考えるというきっかけを与えてくれたのも皮肉ながら事実でございます。

私たちはコロナや経済的理由で不幸になることはありません。それは私の心が不幸だと思っているからなのです。

どんな状況でも人は幸せに生きることが出来ます。相手の悪い所ばかり探し、問題があれば、社会や周りのせいにして私だけの正しさを押し通し生きていく(我欲・心の鬼はどんな素晴らしい場所でも、コロナがない世の中だとしても、それは不幸で悲しい生き方となります。

自身を見つめ、相手にやさしく接していく、そんな生き方なら、どんな場所、どんな災害・疫病が起ころうと人間は打ち勝つ力を持っていると私は信じております。

もちろんコロナの影響で大打撃を受けた方も多くいらっしゃる事と思います。でも、大変だからといって皆様が不幸に

なる必要はありません。どんな困難でも救われる道が必ずあります。ゆつくりでも前に進みましょう。

決して見捨てない阿弥陀さま、あるいは愛する亡きご家族がきつと寄り添ってくれているはずです。当会はこれからも皆様方のおそばに寄り添っていきます。

どうか身近な人の為にもこの苦難を一緒に乗り越えましょう。明けない夜はない、止まない雨はないのです。

あなたは一人ではありません。

皆様が健やかでまたお会いできる日が訪れますよう切に念願する次第です。

皆様お身体お大事にお過ごし下さい。

最後に日々、命がけの救命活動をされている医療従事者の方々に心から敬意を表し、新年のご挨拶と致します。

(令和3年 元旦 太陽の会 釋寛之)

「3密」「三密」の教え

毎年行われる流行語大賞に今年最も世間にインパクトを与えた言葉として「3密」が選ばれた。(2020ユーキャン新語・流行語大賞) 「3密」とは、新型コロナウイルス感染症対策として避けるべき行動、密閉・密集・密接を表す言葉だ。流行語をとった「3密」とは異なるものが仏教で説かれる「三密」だ。「三密」とは、身・口・意からなり、身を整え正しく行動し・正しい言葉や発言を行う・そうすると「意」すなわち心が整うという修行の教えなのです。新型コロナウイルスの猛威は収まることなく私たちの今までの日常を脅かしています。ウィズコロナと言われるように今までの日常を取り戻そうとするだけではなく柔軟な発想でこの状況をどう進んでいくかを一人一人が真剣に考えていく必要があります。その時にこの二つの「さん密」がどちらも重要になるのではと感じています。

「令和2年WEB合同報恩講法要」

令和二年十一月、太陽の塔において令和2年合同報恩講法要が執り行われました。例年でしたら多くの会員様と様々な法要で共にお経をお唱えさせていただくところですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止から僧侶のみでの読経という形で行わせていただきました。その様子を少しでも多くの会員様にみていただくとうと左記のQRコードより動画配信させていただいておりますので、是非一度、法要をご覧ください。



YouTube
太陽の塔 公式チャンネル
「令和2年WEB
合同報恩講法要」



「鬼ってなに?」

2020年大ヒットとなった話題のアニメ映画も大正時代に主人公たちが鬼狩りをしています。私たちが一般的に鬼と会うのは節分で、幼い頃に絵本で読んだ昔話、鬼嫁や鬼のようななど比喻に使うことが日常的にあります。その鬼をお寺でも見る事が出来ます。四天王である増長天、広目天、多聞天、持国天や金剛力士の足元に踏みつけられている鬼がいます。これらの鬼は邪鬼と呼ばれ、仏法を犯す邪神として懲らしめられています。鬼はさまざまな災厄をもたらす存在とされていて私たちの心に沸々と沸いてくる煩惱も鬼に例えられたりすることがあります。有名なあるお寺には、鬼の灯籠があり四天王に懲らしめられ改心し仏前を照らす役割を与えられたといわれています。私たちにふりかかる鬼を退治して2021年は明るく見通しの良い1年になれば良いですね。



「クイズ浄土真宗」

Q、浄土真宗で、お勤めしないお経？

① 『仏説阿弥陀経』

② 『正信偈』

③ 『般若心経』

浄土真宗のお勤め（勤行）は、阿弥陀仏のお徳を讃えて、その救いのお心に包まれて、喜ぶ行為です。ということ、浄土真宗の勧めのお経は阿弥陀仏の御徳を讃えているお経となるわけです。『仏説阿弥陀経』は所依の經典である「浄土三部経」の一つであり、お釈迦さまが、私たちに「阿弥陀仏のお浄土に生まれたいと願って、念仏するように」と勧めてくださったお経ですので、これに当てはまり



ます。また、『正信偈』は、正しく言う」と『正信念仏偈』ですが、これも親鸞聖人が、阿弥陀仏の本願が真実であり、仏さまの救いが間違いない事を讃えて、皆ともに信じて浄土に生まれようと、勧められた聖典であり、浄土真宗の要の教えですので、当然お勤めとしてふさわしいものと言えます。

ところが、『般若心経』は、般若すなわち、知恵が大切であることを説いたお経で、知恵を体得する極意が説かれているものです。これは自力で悟りを開こうとする人たちの聖典で、阿弥陀仏の本願にゆだねる内容のものではありませんので、浄土真宗で勤めているお経ではないのです。

Q、浄土真宗で、お勤めしないお経？

クイズの答え・③

「歎異抄を読む」

『歎異抄』は、親鸞聖人が亡くなった後、門弟の間に真実の信心に背く異議が生じたことから、聖人から口伝を受けた著者が、同心の行者の不審を除くために著した親鸞聖人の言語録です。

罪悪深重・煩惱熾盛の衆生を

たすけんがための願にまします。

釋蓮如（『歎異抄』第一条）

煩惱だらけの

あなたを助けたい



罪深く、煩惱だらけの人間（私）を助けるために、阿弥陀さまは、願いを起こしてくださいだったのである。立派な人（善人）のみを助ける宗教とは、根本的に違う。

「七月～十二月のことば」

太陽の会では、館内入口・本堂入口に「月のことば」を掲載させて頂いております。お経は難しいと思われる方もいらっしゃると思いますが、身近なやさしいお言葉として皆様のお心で味わって頂けたら幸いです。

【七月のことば】

人間は死を抱いて生まれ

死をかかえて成長する

「信國淳選集」より

私どもの生きる事そのこと自体が、一つの解決を要する課題として、私どもに与えられている。

【八月のことば】

念仏をもうすところに

立ち上がっていく力があたらえられる

「心に響くことば」より

なんまんだぶなんまんだぶと、今日もおかげさまでお勤めできる。感謝の日暮らしにお育ていただきました。

【九月のことば】

自分のあり方に痛みを感じるときに人の痛みが心で聞かれる

「他人さえもいとおしく」より

念仏の歴史の中に生まれ育てられてきた人びとが、この痛みをとおして、かけがえない出会いの時、心開かれる世界を、門法の生活の証としてくださっています。

【十月のことば】

念仏とは自己を

発見することである

「心に響くことば」より

お念仏の教えを自分のこととして常に耳を傾けていく、そのことが自分があるがままにみつめるきつかけとなる。

【十一月のことば】

拝まない者も おがまれている

拝まないときも おがまれている

「東井義雄詩集」より

悩みをいだきつつ生きるすべてのものは、如来大非によってかけがえのない大切な仏の子として念じられている。

【十二月のことば】

知恵・慈悲のはたらき

そのものが「仏」なのです

「心に響くことば」より

知恵と慈悲のはたらきそのものが、われらがための仏さまである。

令和三年 行事予定について

【新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、当面の間全ての行事を僧侶のみに変更にさせていただきますので今しばらくお待ち下さい。】

※ご法事やお齋(会食)の会場貸の予約は早めのご予約をお願い致します。また、入館の際にはコロナウイルス感染拡大防止の為、マスクの着用やアルコールでの消毒にご協力をお願い致します。

(法務担当者)